



**第49回日本心血管インターベンション治療学会
北海道地方会
プログラム・抄録集**

◆日時 令和元年10月19日(土)

◆会場 ロイトン札幌

第49回 CVIT北海道地方会 会長

神垣 光徳

KKR札幌医療センター 循環器内科

ご 挨拶



第49回日本心血管インターベンション治療学会 北海道地方会

会 長 神垣 光徳 KKR 札幌医療センター

2019年10月19日、第49回日本心血管インターベンション治療学会(CVIT)北海道地方会を開催するにあたり御挨拶を申し上げます。

冠動脈インターベンション(PCI)が初めて行われてから40年余りが経過しました。その中で、ステント、バルーン、ワイヤなどPCIの根幹をなすデバイスは、日々改良が重ねられているものの成熟してきた感があります。更に慢性完全閉塞、石灰化病変、小血管など複雑病変のPCIも、様々なデバイスの進化と新たな治療手技の開発・標準化によりかなりの部分で克服されてきつつあります。冠動脈CT、MRI、IVUS、OCT/OFDIなどのイメージングモダリティや、FFR/iFR/RFRなどの虚血評価手技も進歩・普及して、PCIの適正化に大きく貢献してきました。この結果、治療成績は着実に改善されてきており、DAPT期間の短期化も可能となってきています。

一方、下肢動脈などの血管内治療(EVT)の世界は、長期開存率の向上が課題でしたが、最近続々と新たな治療手段が出てきています。昨年から本邦でも薬剤塗布バルーンが使用できるようになり、新たな薬剤溶出ステントの上市や、浅大腿動脈・腸骨動脈の狭窄・閉塞病変にもステントグラフトの使用が可能となるなど、治療の幅が大きく広がってきています。今後も新たなデバイスが続々と登場し、長期成績の更なる改善が期待されます。

また、構造的疾患(SHD)に対するインターベンションも、TAVIではデバイスの進歩により今後の適応拡大が期待されますし、MitraClip[®]の適用、左心耳閉鎖システムの薬事承認取得など、ホットな話題にことかきません。

このように我々が理解しておくべき手法・知識は日々増えており、CVIT北海道地方会は、会員が一堂に会して経験と知識を共有し、スキルを高めていくために非常に重要な会となります。

今回、本地方会では一般演題、Young Investigator Award(YIA)セッション、コメディカルセッションに加えて、前回同様に午前中に2症例のビデオライブセッションを行います。また、特別講演には、京都桂病院の中村茂先生をお招きして、ステントレスPCIに関するご講演を賜ります。更に、続けて教育講演としてTAVIで残るHot topicについて新東京病院の長沼亨先生にもご講演を賜り、盛りだくさんな内容となっております。当日も日常診療等で御多忙のこととは存じますが、多数の御参加、そして活発な御討議をどうぞ宜しく申し上げます。

最後になりますが、会員の皆様ならびにコメディカルの方々には大変興味深い演題を多数ご応募頂き、厚く御礼申し上げます。また、本会開催にあたり多大な御尽力を賜りました支部役員、会員、事務局および関係諸氏にも、この場をお借りして心より御礼を申し上げます。

参加者へのご案内

1 参加受付

- 受付日時 2019年10月19日(土) 9:30～17:00
- 受付場所 ロイトン札幌 2F ホワイエ
- 参加費 医師(会員・非会員)・企業 3,000円
コメディカル(会員・非会員) 2,000円

会員の方は事前に発送された当抄録集をご持参ください。

- 参加証 会期中は参加証の着用をお願いいたします。参加証の着用がない場合は、各会場への入場を固くお断りします。

2 その他ご案内

- クロークについて お荷物はロイトン札幌2Fのクロークをご利用ください。
- 写真撮影・音声収録・映像収録 会場内での、撮影・音声・映像収録は固くお断りします。
- 呼び出し 会場内での呼び出しは行いません。
- ロイトン札幌駐車場の割引サービスはありません。
- ランチョンセミナーでは昼食をご用意いたします。数に限りがありますので予めご了承ください。尚、整理券の配布はありません、先着順となります。

▪ 取得可能単位について

- 日本心血管インターベンション治療学会(CVIT)専門医認定医資格更新単位
3点^{(※1)(※2)}
- 日本心血管インターベンション治療学会合同認定インターベンションエキスパートナース(INE)更新単位 10単位
- 日本心血管インターベンション治療学会認定心血管インターベンション技師(ITE)更新単位 10単位^(※2)
- 日本血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師 認定更新単位
2単位^(※2)

各資格更新時にご自身でお手続きください(参加受付の際に、参加証明書を発行いたします)。

※1: CVIT 専門医認定医資格更新単位3点のみ、会員証による単位登録を行います、会員証をご持参ください。

※2: 座長・発表者として出席の場合は単位数が変更となる場合があります、詳しくは各事務局へお問い合わせください

3 座長・演者の方へ

▪ 座長の方へ

ご担当のセッション開始10分前までに、会場内右手前方の座長席近くにご着席ください。

担当セッションは時間厳守にてお願いします。

▪ 演者の方へ

口演発表は、コンピュータープレゼンテーションに限ります。

ご発表セッション開始20分前までに、PC受付にてご発表データの登録またはプレビューを行ってください。

発表は、演台のモニターで確認しながら備え付けのマウスおよびキーボードで自身で進めてください。

【PC受付】 ロイトン札幌 2F ホワイエ 参加受付横

【発表時間】

メディカル一般演題／コメディカル一般口演：

発表 7分 質疑応答 3分 計10分

地方会優秀演題(YIA)：

発表 10分 質疑応答 2分 計12分

その他のセッションは別途ご連絡いたします。

【データでの持込について】

- データはUSBメモリなどメディアでご持参ください。
- 動画を使用の場合でもUSBメモリなどメディアでの持込を可とします。ただし下記の注意事項を必ず守ってください。
 - i Windows版Power point 2003～2016で作成されたデータであること。
 - ii 動画ファイルを使用する場合はWMVにエンコードしたものを推奨します。Power Point 2010以降はスライドデータに動画ファイルを埋め込む機能がありますが、保存を97-2003の互換で行いますと、その機能が有効になりません。動画ファイル単体は念のためお持ちください。
 - iii Windows標準フォントを使用すること。
 - iv 動画含め作成されたPC以外のPCで事前に動作確認をしていただくこと。
 - v スライドのサイズはXGA(1024×768)に設定していただくこと。

【PC本体の持込について】

- 電源アダプターは必ずご持参ください。
- ご発表のパワーポイントまたはKeynoteの解像度はXGA(1024×768)に設定してください。

- スクリーンセーバー、省エネ設定(スリープ機能等)、パスワードロックはすべて解除してください。
- D-sub 15ピンミニ以外のコネクタのPCは必ずアダプターをご持参ください。
- 可能な限り、事前にプロジェクターなどへ接続し、出力をご確認ください。

【データ・PC 共通事項】

- パワーポイントの発表者ツールは使用できません。発表原稿はプリントアウトしご持参ください。
- 万が一に備え、必ず発表ファイルのバックアップデータをご持参ください(USBメモリ、CD-Rなど)。
(作成されたPC以外のPCで再生できることをご確認ください)

【その他】

- お預かりした発表データは、学会終了後、事務局にて消去いたします。
- 当日やむを得ない事情で発表出来ない場合はなるべく代理の演者を立ててください。
代理も不可能な場合は演題取り下げになります、事務局へ電話にてご連絡をお願いいたします。

4 幹事会・comedical部会のご案内

▪ CVIT 北海道支部幹事会

日時：2019年10月19日(土) 12:40～13:00

会場：ロイトン札幌 2F クリスタルルーム B

▪ CVIT 北海道支部comedical部会

日時：2019年10月19日(土) 11:00～11:30

会場：ロイトン札幌 2F クリスタルルーム B

5 お問い合わせ先

日本心血管インターベンション治療学会北海道支部 事務局

〒003-0809 札幌市白石区菊水9条3丁目1-17

TEL：011-788-3046 FAX：011-788-3045

<http://www.cvit-hokkaido.com/>

日 程 表

	ハynesホール	クリスタルルーム A	クリスタルルーム B
9:30			
10:00	9:57～10:00 開会挨拶 10:00～10:50 メディカル一般演題 Session 1	10:00～10:45 ビデオライブセッション 『SFA 症例』	
11:00	10:50～11:40 メディカル一般演題 Session 2	10:45～11:30 ビデオライブセッション 『TAVI 症例』	11:00～11:30 コメディカル部会
12:00	11:50～12:30 ランチョンセミナー		
13:00			12:40～13:00 幹事会
14:00	13:10～14:10 特別講演		
15:00	14:10～15:10 教育講演		
16:00	15:10～16:35 地方会優秀演題 (Young Investigator Award)	15:15～15:20 開会挨拶 15:20～15:50 コメディカル教育講演 15:50～16:30 コメディカル一般口演 1	15:10～16:30 レジストリー 説明会
17:00	16:35～17:15 メディカル一般演題 Session 3	16:30～17:10 コメディカル一般口演 2 17:10～17:12 閉会挨拶	

プログラム

10月19日(土) 会場：ロイトン札幌 2F

ハynesホール

9:57～10:00 開会挨拶 会長：神垣 光徳 KKR 札幌医療センター

10:00～10:50 一般演題 Session 1

座長：古谷 純吾(華岡青洲記念心臓血管クリニック)

- 01** 巨大血栓を伴う左冠動脈前下行枝の急性心筋梗塞の一例 16
川南 有貴 JA 北海道厚生連 帯広厚生病院 循環器内科
- 02** 右冠動脈の同定に緊急心臓 CT が有用であった ACS の症例 17
飛澤 利之 旭川赤十字病院 循環器内科
- 03** 経皮的冠動脈形成術施行時に生じた医原性大動脈解離の1例 18
夏井 宏征 北見赤十字病院 循環器内科
- 04** Device 通過困難なステント内閉塞病変に対する
penetration device としての ELCA の有用性 19
萱沼 圭悟 北海道循環器病院 循環器内科
- 05** 左橈骨動脈アプローチでのステント脱落の回収に成功した一例 20
今 寿 札幌整形循環器病院 心臓血管内科

10:50～11:40 一般演題 Session 2

座長：清水 紀宏(砂川市立病院)

- 06** CABG 術後左内胸動脈びまん性狭窄に対する PCI において、
左前肋間動脈に Coil 塞栓術を追加した一例 21
池田 大輔 市立千歳市民病院 循環器科
- 07** 内胸動脈造影が終始にわたり有用であった腸骨動脈 CTO の一例 22
須永 大介 北海道循環器病院 循環器内科

- 08 CFA 高度石灰化病変に SUPERA スtentを使用して学んだこと 23
中川 裕也 函館市医師会病院 循環器科
- 09 遺残坐骨動脈を合併した内腸骨動脈狭窄に対する EVT 症例 24
下岡 良典 北農会 恵み野病院 循環器内科
- 10 経皮的血栓破碎術により血行動態の著明な改善を認めた
急性肺血栓塞栓症の一例 25
永野 伸卓 札幌医科大学 循環器・腎臓・代謝内分泌内科

11:50～12:30 ランチョンセミナー

座長：五十嵐 康己(時計台記念病院)

DES 留置後の抗血栓療法 —最新のエビデンスをどう解釈するか！

小林 欣夫(千葉大学大学院 医学研究院 循環器内科学)

共催：アボット バスキュラー ジャパン株式会社

13:10～14:10 特別講演

座長：神垣 光徳(KKR 札幌医療センター)

冠動脈治療のパラダイムシフト

中村 茂(京都桂病院)

14:10～15:10 教育講演

座長：山下 武廣(北海道大野記念病院)

TAVI についてのディスカッション：残る Hot topic は2つ(仮)

長沼 亨(新東京病院 心臓内科)

共催：日本メドトロニック株式会社

審査員：尾崎 威文 (札幌整形循環器病院)
 明上 卓也 (北海道医療センター)
 白井 真也 (KKR 札幌医療センター)

症例検討部門

- Y-1** 無症候性の特発性冠動脈解離に伴う慢性完全閉塞病変を PCI しえた一例 26
 上原 拓樹 勤医協中央病院 循環器内科
- Y-2** Cutting Balloon の Blade Fracture に対してイメージング下で
 Bail out した一例 27
 松名 伸記 札幌心臓血管クリニック 循環器内科
- Y-3** エルトロンボパグ内服中の高リスク抗リン脂質抗体症候群患者に発症した
 スtent血栓症の一例 28
 鈴木 洋平 札幌医科大学 循環器・腎臓・代謝内分泌内科学講座
- Y-4** Diamondback 360 の初期成績 29
 豊嶋 更紗 名寄市立総合病院 循環器内科
- Y-5** 経皮的心肺補助装置のサポート下に、経皮的動脈弁留置術を施行した
 高リスクの重症動脈弁狭窄症の2例 30
 西川 諒 札幌医科大学医学部 循環器・腎臓・代謝内分泌内科学講座
- Y-6** 内頸動脈狭窄症を合併した高度動脈二尖弁狭窄症に対して
 CAS と TAVI のハイブリッド手術を施行した1例 31
 小林 雄太 北海道大学大学院医学研究院 循環病態内科学教室

臨床研究部門

- Y-7** 新規冠動脈 (de-novo) 病変に対する Drug coated balloon の検討 32
 竹中 秀 北海道大学 大学院医学研究院 循環病態内科学教室、
 帯広協会病院 循環器内科

- 11** 離断し肺動脈末梢に閉塞した中心静脈アクセスポートを回収し得た一例 33
永野 伸卓 札幌医科大学 循環器・腎臓・代謝内分泌内科
- 12** 肺動脈内に脱落したリードレスペースメーカーの回収に成功した一例 34
伊東 直史 KKR 札幌医療センター 循環器内科
- 13** 心房細動へ肺静脈隔離術後の左肺静脈狭窄に対し拡張術を施行した
自験例の報告 35
徳野 翔太 名寄市立総合病院 循環器内科
- 14** 膠原病に伴う肺高血圧症を合併した心房中隔欠損症に対する
経皮的デバイス閉鎖術に関する検討 36
蓑島 暁帆 旭川医科大学 内科学講座 循環・呼吸・神経病態内科学分野

クリスタルルーム A

10:00～10:45 ビデオライブセッション

『SFA 症例』

座長：尾崎 威文（札幌整形循環器病院）
明上 卓也（北海道医療センター）

演 者：岩田 周耕（名寄市立総合病院）

コメンテーター：岡林 宏明（華岡青洲記念心臓血管クリニック）
平井 俊浩（旭川厚生病院）
只野 雄飛（札幌心臓血管クリニック）
細井 雄一郎（札幌東徳洲会病院）

ミニレクチャー

LUTONIX RX

浦澤 一史（時計台記念病院）

共催：株式会社メディコン

10:45～11:30 ビデオライブセッション

『TAVI 症例』

座長：竹内 利治（旭川医科大学）
八戸 大輔（札幌心臓血管クリニック）

演 者：数野 祥郎（手稲溪仁会病院）

コメンテーター：國分 宣明（札幌医科大学）
山崎 和正（札幌東徳洲会病院）
岩切 直樹（北海道大野記念病院）
土反 英昌（札幌心臓血管クリニック）

共催：日本メドトロニック株式会社

15:15～15:20 開会挨拶 橋本 佳苗 札幌医科大学附属病院

15:20～15:50 コメディカル教育講演

座長：扇谷 稔(北海道大野記念病院)

最近の不整脈治療について

神山 直之(札幌医科大学 循環器・腎臓・代謝内分泌内科学講座)

15:50～16:30 コメディカル一般口演 1

座長：山路 竹一(北海道大野記念病院)

小倉 直浩(KKR 札幌医療センター)

- C-1** Wolverine Cutting Balloon の性能評価について 37
岡田 敬 市立釧路総合病院 臨床工学室
- C-2** 4DCTA 撮影を使用したステントグラフト後のエンドリーク評価の1例 38
宮本 裕輔 社会医療法人 孝仁会 釧路孝仁会記念病院 診療放射線科
- C-3** 急性心筋梗塞における冠微小循環障害とプラーク性状に関する検討
—60MHz IB-IVUS を用いた検討— 39
田中 義範 市立旭川病院 臨床工学室
- C-4** LAD Proximal STENT 留置後 LCX 側に発生したスリット状陰影の評価 40
宮本 直武 士別市立病院 診療技術部 診療放射線室 放射線科

座長：工藤 淑恵(北海道大野記念病院)
仲谷 庸(札幌整形循環器病院)

- C-5** コメディカルミーティングを導入して 41
山口 和也 市立旭川病院 臨床工学室
- C-6** 経皮的頸動脈ステント留置術と TF-TAVI の同時施行の経験 42
岡本 花織 北海道大学病院 ME 機器管理センター
- C-7** 経皮的僧帽弁接合不全修復術の導入 43
船橋 一美 札幌医科大学附属病院 臨床工学部
- C-8** 腸管虚血を合併する急性大動脈解離に対し、
SMA ステント留置術を施行した症例の経験 44
小倉 直浩 KKR 札幌医療センター 臨床工学科

クリスタルルーム B

11:00～11:30 コメディカル部会

12:40～13:00 幹事会

15:10～16:30 レジストリー説明会

石井 秀樹 (CVITレジストリー委員会)

A series of horizontal dashed lines for writing.

抄 録

01 巨大血栓を伴う左冠動脈前下行枝の急性心筋梗塞の一例

○川南 有貴

JA 北海道厚生連 帯広厚生病院 循環器内科

【背景】冠動脈血栓性イベントの60-70%はプラークの破綻 (plaque rupture) とされており、びらん (erosion) は比較的若年者や女性に多く20-30%程度とされている。

【症例】40歳代男性、特記すべき既往はなく冠危険因子は喫煙のみであった。某日、突然の胸痛を主訴に当院救急外来を受診した。採血・心電図・経胸壁心エコー図検査で急性前壁心筋梗塞が疑われ、緊急冠動脈造影を施行し左前下行枝近位部に巨大血栓を認めたため、血栓吸引を試みた。6Fr システムでは血栓吸引困難であり、7Fr システムへ変更したが血栓像は不変であった。造影上はTIMI3のflowは得られており、バルーン拡張やステント留置は行わずに大動脈内バルーンパンピング (IABP) と抗凝固療法で経過をみることにした。術後CK 2946U/L (CK-MB 155U/L) でpeak outし第3病日に再造影を行い、血栓量の減少を確認したためIABPは抜去した。抗凝固療法を継続し第10病日の再造影で血栓像の消失が確認された。血管内超音波 (IVUS) では、明らかなplaque rupture像は観察されず、血栓形成部位に不整形のplaqueを認めたためerosionと血栓形成による急性心筋梗塞であったものと推察された。冠危険因子の少ない比較的若年男性の巨大血栓による急性心筋梗塞を経験したため、文献的考察を加え報告する。

第49回日本心血管インターベンション治療学会
北海道地方会
プログラム・抄録集

会 長：神垣 光徳

事務局：日本心血管インターベンション治療学会 北海道支部
〒003-0809 札幌市白石区菊水9条3丁目1-17
TEL：011-788-3046 FAX：011-788-3045
<http://www.cvit-hokkaido.com/>

出 版：株式会社セカンド
〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025
<https://secand.jp/>

会場案内図



日本心血管インターベンション治療学会(CVIT)北海道支部

事務局 〒003-0809

札幌市白石区菊水9条3丁目1-17

TEL 011-788-3046

FAX 011-788-3045

<http://www.cvit-hokkaido.com/>